

平成 31 年度

「児童生徒の学力向上を図るための調査」

◆本調査について

- ・ 都内の 5 年生対象に国語、社会、算数、理科の 4 教科の学力を調査
- ・ 各教科とも「A 教科の内容」の観点で出題
- ・ 「A 教科の内容」は、思考・判断・表現、技能、知識・理解の 3 領域（国語は「読む」を含む 4 領域）について調査

◆結果

		A 教科の内容 (%)	
教科		本校	東京都
国語		67.2	67.6
社会		68.9	66.7
算数		64.1	60.1
理科		58.6	56.8

- ・ 観点別における都平均との比較では、各教科とも思考・判断・表現（国語：話す・聞く）ではすべて上回っている。その一方で知識・理解（国語：言語）では社会は上回っているが、それ以外の教科で若干であるが下回っている。

◆考察

- ・ 各教科とも着実に学力が身に付いていると思われる。継続的に効果的な指導を続けていく。
- ・ 観点別に見てみると知識・理解については社会以外が下回っていることから、確実な知識獲得の仕方、理解の深め方などの指導の工夫を考え実践していく。
- ・ 学力の土台となる国語の「言語」、「読む」、「書く」の力をしっかりと身に付けさせていく。このことによりそれぞれの教科の正答率も伸びていくと思われる。

		A 教科の内容 (%)							
教科	思考・判断・表現 (国語：話す・聞く)		技能 (国語：書く)		知識・理解 (国語：言語)		読む		
	本校	東京都	本校	東京都	本校	東京都	本校	東京都	
	国語	71.4	65.3	66.7	70.4	66.5	67.4	66.1	67.4
社会	67.8	63.5	65.8	66.8	77.6	70.6			
算数	52.0	47.2	70.7	65.0	66.7	67.6			
理科	57.4	53.0	69.9	67.0	54.1	55.0			

- ・ 教科全体の正答率では、国語は都平均よりも 0.4 ポイント下回っているものの、その他の教科では算数の 4 ポイントをはじめ都平均の正答率を上回っている。